

1. 実験方法

ヒトの前腕及び母指球の含水率深度分布をin vivo共焦点ラマン分光装置により評価した（レーザー波長671 nm）。

2. 測定結果

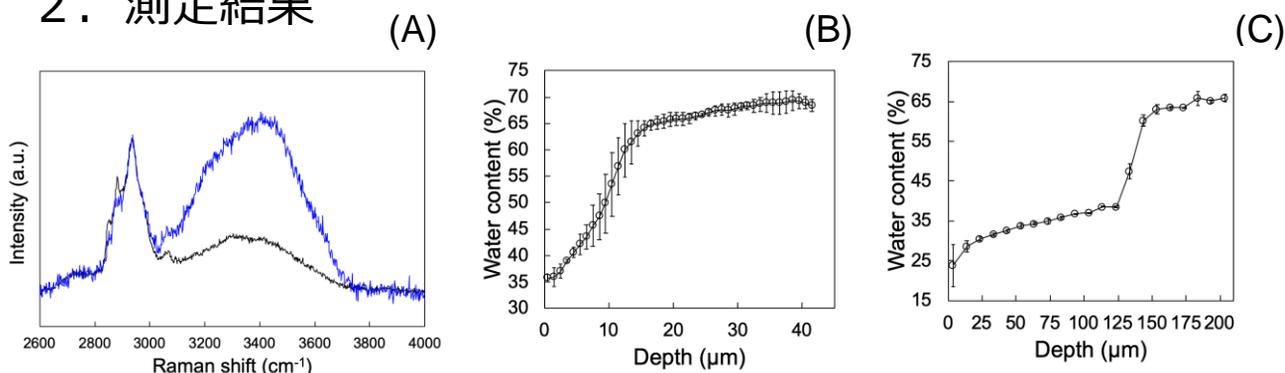


図1. in vivo共焦点ラマン分光分析によるヒト前腕及び母指球の含水率深度分布。
(A) 前腕の皮膚表層近傍（黒線）及び深度40μm（青線）におけるラマンスペクトル。
(B) 前腕、及び(C)母指球の含水率深度分布（n=3）。エラーバーは標準偏差を示す。

3. 測定結果から得られる情報

- 皮膚表層近傍ではタンパク質由来ピーク(2910–2965 cm⁻¹)が主であるが、深度が大きくなるにつれ水由来ピーク(3350–3550cm⁻¹)が大きくなる（図A）。これら2つのピーク比から含水率が算出される。
- 高分解能(ステップ数1 μm)で前腕の含水率深度分布が得られる(図B)。
- 深度方向200 μm付近まで含水率の評価が可能である(図C)。

4. 使用機器／利用料金

in vivo共焦点ラマン分光装置

(Gen2-SCA, RiverD International B.V.社製)

中小企業／一般企業： 3,880 円／ 8,190 円（1時間当たり）

※あくまで参考価格です。試験内容によって料金は変わりますことご了承下さい。
ご不明な点等ありましたら[お問い合わせ](#)ください。